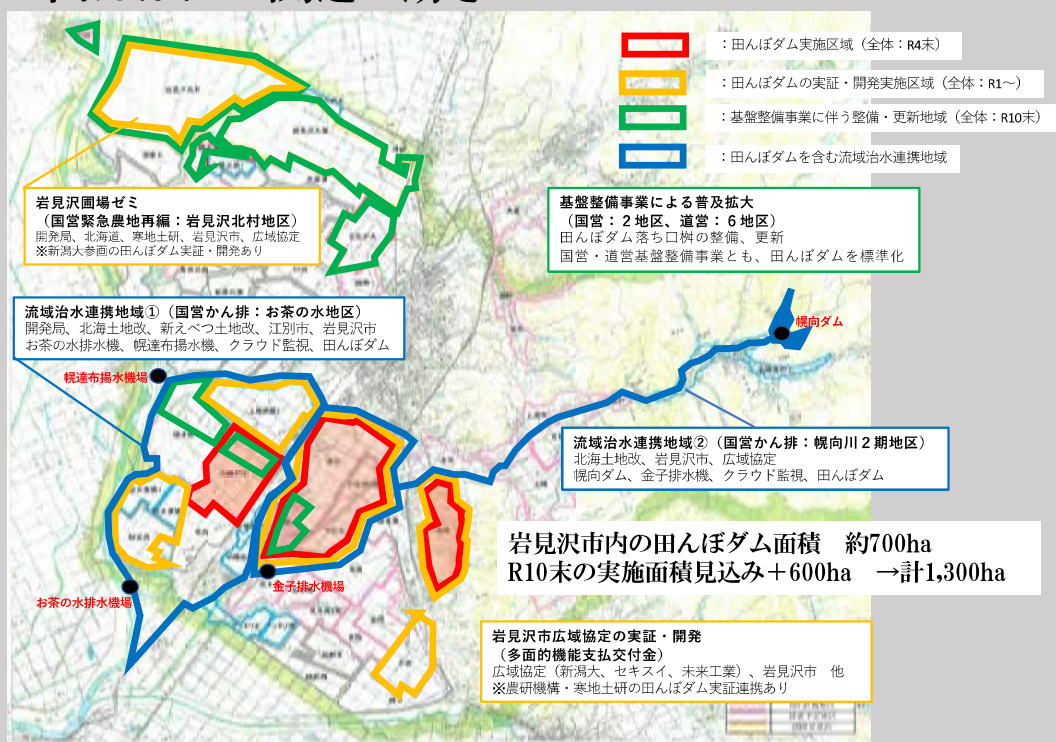


田んぼダム関連の動き



岩見沢の農業基盤「4つの超能力」

「超・防災性能」

防災性能と確実な農業生産

- 連続性 : 農村部と都市部、内水と外水、石狩川流域等
- 継続性 : ストマネ、軟弱地盤、トライボロジー、事業運営
- 田んぼダム : 雨水を一時貯留、揚水と排水のダムの連携、河川・都市インフラとの連携、連携自動化
- 定住条件強化 : 排水監視クラウド、i-YUKIWARI

「超・省力化」

革新的技術の効果を促進

- 特色ある地域農業 : 圃場の大区画化・汎用化
地下かんがい、大型農機対応
- ICT・スマート農業 : 自動給排水栓、農業気象情報
AI、ロボティクス、ICT

「超・収益化」

高品質作物を大量生産

- 新生育技術 : 空型輪作、乾田直播
名人の技、収量安定、
- ブランド化 : 付加価値と需要
次世代のみどり農業

互いに
効果を促進

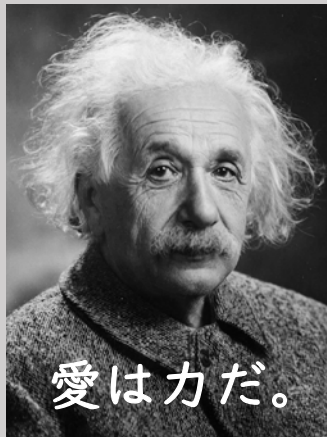
「超・環境機能」

みどり農業の効果促進

- 地力増進 : 有機質、膨軟化、保肥力向上
- 資源循環 : 腐熟促進、微生物活性、酵素
BISTRO下水道、低GHG
- 健康に貢献 : 高栄養価、腸菌相関、空間免疫
- 生物多様性 : バイオーム、水迎生物
水田魚道、受粉昆虫、渡り鳥

5次元の施策とは？

5次元の指標に配慮した施策のこと



Albert Einstein @1947 Oren J. Turner
cph.3b46036

3次元 : 空間・農地資源
+
1次元 : 時間軸・経年変化
+
1次元 : 想い・愛情・心理

5次元の施策とは？

人々の想い・愛は、万象の原動力と考える。
その力は、時空を超えて影響しあうと考える。
その大きさは、想い・愛の総量に比例する。

映画 インターステラー



[CC BY-NC-ND](#) のライセンスを許諾されています

七五三縄

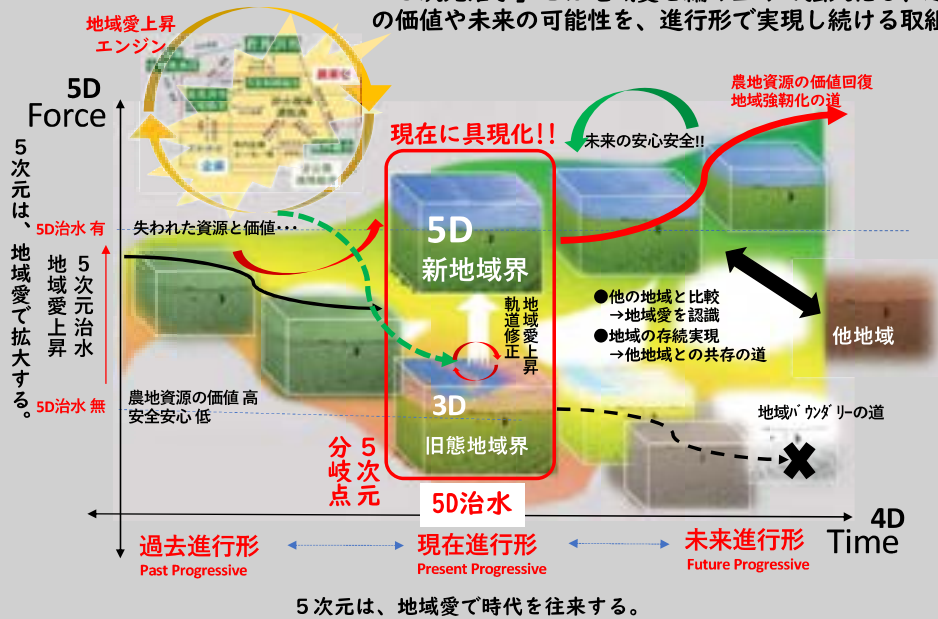


[CC BY-NC-ND](#) のライセンスを許諾されています

5次元治水対策の概念図

第6回インフラメンテナンス大賞 農林水産省優秀賞

「5次元治水」とは地域愛を編み上げて強大化し、過去の価値や未来の可能性を、進行形で実現し続ける取組。



5次元治水対策の概要図

過去の価値を重んじつつ、現在から未来にわたって安全な住まいで暮らし、働き、活動に参加しながら、生き甲斐や地域の愛着が感じられる生活「持続的な質の高い生活（QOL）」を送るための取り組み。

3D（空間・農地資源）＋
1D（過去の価値、経年変化）＋
1D（地域愛、心理的安全性、生活の質）



Human In The Mirror

*"I'm starting with the man in the mirror
I'm asking him to change his ways
And no message could have been any clearer
If you wanna make the world a better place
Take a look at yourself and then make a change"*

Michael Jackson : Man In The Mirror 1988

Thank you for listening.

岩見沢の旋風にバトンタッチ！

2018.05.31 16:58

Chapter . 1 「田んぼダム」を見つめて考える

斎藤 貴 視 (さいとう たかみ)
岩見沢市 農政部 農業基盤整備課長

Chapter . 2 「田んぼダム」を見つめて行動する

高 道 政 秀 (たかみち まさひで)
北海土地改良区 総務部 総務課長

岩見沢市における「田んぼダム」推進のための

‘広域協定’の役割は



農村地域内外に「共感の輪」を広げて行くこと

農業者にとって無理のない作業

“実証による岩見沢方式の確立を目指す”

コンクリートマス



FRPマス



その他

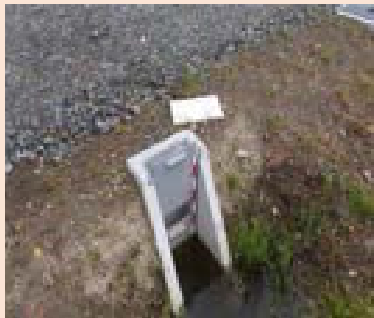


それぞれの落口状況にマッチした方式を見出だしていく

岩見沢市の場合、基本的には「機能一体型」
に対応したマスが主流。



コンクリート製



FRP製



ポリ製



岩見沢市は、基盤整備事業が盛んで現在、
国営事業が2地区、道営事業が14地区実施中です。

概ね、平成22年以降に
整備された地区



機能一体型に対応した
流出量調整器具を設置

平成22年以前又は、
未整備地区



機能分離型の
落口マスを設置

整備予定地区については



進捗状況に応じ調整する

整備事業地区（コンクリートマス）での実証①

新潟大学との実証

国営北村地区



道営砂浜地区



整備事業地区（コンクリートマス）での実証②

寒地土木研究所との連携実証

道営上幌向地区

令和6年度

堤内地の貯留効果把握に関する
検討業務

現地把握について

整備事業地区（コンクリートマス）での実証③

民間企業との連携実証

道営幌向地区



道営志文地区



未整備事業地区（平成22年整備以前）での実証

新潟大学との連携実証

御茶の水地域



栗沢豊成地域



これらの実証結果が出次第、
各地域への普及を促進していく。

同時に農村地域外の人達への啓発活動も行っていく。

○市内外でのイベント等を活用した活動

○施設の見学会

○「田んぼダム米」の作成

岩見沢市広域協定の概要

○令和元年度設立

○31の協力会から成る

○対象農用地：17,263ha

(田15,381ha、畑1,866ha、草地16ha)

○カバー率：約90%

○構成員農業者：個人698名、農事組合法人等151団体

○参加団体：自治体、女性会、子供会、PTA、JA、改良区、

ざわサポ等

「ざわサポ」

岩見沢広域協定サポーターズ通称「ざわサポ」とは、地域の共同活動に係る支援を目的とした多面的機能支払交付金の推進のための事務的及び技術的支援、コンサルティング業務等の提供を行なう。

そして、岩見沢市広域協定及び関係協力会の理念に共有し、岩見沢市における農村振興に係る共同活動に参加又はサポートを行なう団体、企業及び個人とする。

令和6年10月現在

企業17社、大学2校、研究機関等2団体計21団体が参加。

みどりの食料システム戦略による環境 負荷低減に向けた取り組み

国内肥料資源利用拡大

環境負荷低減の取組の「見える化」

Jクレジット（中干延長）

みどりの食料システム法に基づく特定区域の設定

みどり認定



構成員全員が「クロスコンプライアンス」に対応できるため

岩見沢市広域協定が目指すもの

担い手育成

施設保全

潤い

環境保全

地域活性化

「田んぼダム」も岩見沢市広域協定が行っている取り組みの一環

～これから～



ご清聴ありがとうございました